

全力で突っ走れ！ 折乃笠部長

富士山歴訪の旅

1. 大月秀麗富嶽十二景登山の旅 2012年

【15】三番 大蔵高丸 ハマイバ 10月 6日(土)



目次

【1】目的

- (1) 更なる大月発見
- (2) 大月市民特性の地理的背景
- (3) 何事にも目的を持ってチャレンジ

【2】大月市秀麗富嶽十二景 十九峰 地図

- 【3】 八番 岩殿山 4月30日(月)
- 【4】 六番 扇山 5月19日(土)
- 【5】 十一番 高川山 5月26日(土)
- 【6】 七番 百蔵山 6月10日(日)
- 【7】 八番 お伊勢山 7月14日(土)
- 【8】 十番 九鬼山 8月4日(土)
- 【9】 九番 倉岳山 高畑山 8月13日(月)
- 【10】 二番 牛奥ノ雁ヶ腹摺山 小金沢山 8月16日(木)
- 【11】 五番 奈良倉山 8月18日(土)
- 【12】 十二番 清八山 本社ヶ丸 9月1日(土)
- 【13】 四番 笹子雁ヶ腹摺山 9月9日(日)
- 【14】 一番 雁ヶ腹摺山 姥子山 9月29日(土)
- 【15】 三番 大蔵高丸 ハマイバ 10月6日(土)
- 【16】 四番 滝子山 11月2日(金)

【17】考察

- (1) 更なる大月発見
 - ①全体を通して
 - ②秀麗富嶽十二景 日本一富士山が美しい十九の峰
 - ③大月の文化
 - ④悲しみの森
 - ⑤まとめ
- (2) 大月市民特性の地理的背景
- (3) 何事にも目的を持ってチャレンジ
 - ①心意気
 - ②チャレンジ ベスト5
 - ③失敗 ワースト5
 - ④楽しかった ベスト5

【18】まとめ

【15】秀麗富嶽十二景 三番 大蔵高丸 ハマイバ

10月6日(土)

自宅 → 笹子トンネル → 甲斐大和 → 天目山 → 湯ノ沢峠 車
 湯ノ沢峠 → 大蔵高山 → ハマイバ → 大蔵高山 → 湯ノ沢峠
 湯ノ沢峠 → 天目山 → 甲斐大和 → 笹子トンネル → 自宅 車



10月6日(土)

5時50分

起床。

清々しい青空の朝。

目覚めはさわやか。

今日は、共三番の大蔵高丸・ハマイバ（破魔射場）に行く。

しっかりと朝食を取り、体力補強。

(ご飯大盛、アサリの味噌汁、高級アジの開き(家内の焼津のお土産)、梅干、野菜ジュース。)

6時30分

出発。湯ノ沢峠まで自身運転の車で行き、帰りも車で帰って来る。

赤い折笠シエータ、今日もたのむよ。

予定では、大峠手前の真木川橋（15 km）まで車で行ってそこから登山道を1時間30分登って湯ノ沢峠に行くことにしていた。

が、先週、雁ヶ腹摺山で4 m滑落して両膝を負傷してしまい、まだ、擦り傷が治っていないと痛みがある。びっこ気味。

よって、今回は、甲州街道を笹子トンネル経由甲斐大和、田野（景德院：武田勝頼自害場所）、天目山を通過して湯ノ沢峠まで一気に車で行ってしまおう。

その後、尾根伝いに大蔵高丸、ハマイバへ徒歩で行くことにする。

家内は延期を提案したが、この位の登山ならば、大丈夫！

天気も良いし、もったい9！

一番の理由は、疲れた心に栄養補Q！

7時27分

湯ノ沢峠駐車場に到着。走行距離35.3 km。

外は涼しい。さわやかモーニング。



湯ノ沢峠駐車場

駐車場には、すでに車が一台有。

老夫婦が「おはようございます」と素敵な笑顔で出発していった。

7時38分

荷物のチェックを完了し、出発。

赤い折笠シエータ、待っててね。



カラフル案内図

7時40分

湯ノ沢峠着。標高1652 m。

予定では1時間30分の所、2分で来てしまった。

今回は勘弁してください。

一気に展望が開ける。

眼前に白谷ノ丸、黒岳と、大菩薩嶺に連なる山並み。



湯ノ沢峠

道は左が黒岳、真っ直ぐが真木川橋、右が大蔵高丸。
右に進み、大蔵高丸を目指す。

ここで大蔵高丸を紹介。

『大菩薩嶺から南側へ続く尾根筋を小金沢山稜又は小金沢連嶺と呼び、その主峰となる小金沢山から、牛奥ノ雁ヶ腹摺山、黒岳、白谷ノ丸、湯ノ沢峠と経て当山に至る。

山名は、甲州市側にある大蔵沢の上流にある高い山という意味で、丸（マル）は朝鮮語の峰を指すことばと言われる。

甲斐国志では甲斐の国の東の鎮めを「初鹿野山」としているが、この初鹿野山とは当山から南の大谷ヶ丸にかけての一带のことだと言われる。

山頂は、南側のハマイバ（破魔射場）と共に富士山の眺望に優れる秀麗富嶽十二景の一つとして選ばれている。

登山口の湯ノ沢峠から当山の山頂、南側のハマイバにかけて花の美しいコースとして知られる。』

7時43分

起伏があまりなく、道幅も広く、
非常に歩きやすい山道 ♪

7時47分

高原地帯をおじさん（自分のこと）が行く。
今までの山と景色が違う。



歩きやすい山道



高原地帯

7時48分

湯ノ沢峠お花畑に入る。

相田みつをの”花の詩”を読みながら、花を観る。

『花はただ咲く
ただひたすらに』



お花畑入り口

『名もない草も実をつける
いのちいっぱい
自分の花を咲かせて』



『花には人間のような
かけひきがないからいい
ただ咲いて
ただ散ってゆくからいい
ただになれない人間のわたし』



花を観ていると心が純粋にきれいになる。

いや、より純粋な心を持つことによって
花はよりきれいに見えるのですね。

『あなたのところが きれいだから』

こんな小さな 野の花が
宝石のように きれいに見えるんですね



あなたのところが うつくしいから
遠い谷間の 小鳥の音が
うつくしい笛の音に 聞こえるんですね



あなたのところが きれいだから
見るもの 聞くもの
すべてが きれいにうつるんですね』



小生の気分は晴れやか、心はさわやか、体は軽やか。

7時58分
熊笹のトンネルを行く。

8時03分
大蔵高丸の頂上目指してそれなりの登り坂が続く。



熊笹のトンネル

8時07分
枯れ葉の小道をただひたむきに歩き続ける
哲人？ 鉄人？ 徹人？

8時14分
大蔵高丸頂上。標高1781m。

ちょっと汗をかいただけ。



それなりの登り坂

頂上というよりも小高い丘という感じ。
今までの山と感じが明らかに違う。

やわらかな日差しに秋の気配である。

360° 大パノラマ。

富士の山が綺麗に観えている。
左右の裾野まで綺麗に見える。
正対象が素晴らしい。
富士はもうすぐ白化粧を始めるのだろう。



大蔵高丸 山頂





富士山をズームアップ



西には南アルプス連峰、勝沼・一ノ宮・御坂などの街並みが見えている。今日の夜、勝沼のぶどうまつりに行く予定。

8時23分

ハマイバに向けて出発。

ここでハマイバの名前の由来を紹介。

『正月17日、この土地の山仕事をする人たちが、南方の滝子山の西の浜立山（破魔を立てる山）に向かって矢を射る。

そして山神の加護を願い、身の安全、豊猟などを願った。

その矢を射た山をハマイバ丸というようになったのではないかと。

ハマイバ丸山頂から南に数分行くと、眺めの良い場所がある。

そこが破魔射場なのだそうだ。

これが山名の由来。』

8時24分

すすきのトンネル。

富士の姿が前方にあり、それに向かって尾根を歩いている。



南アルプス連峰と街並み



すすきのトンネル

8時30分

快適、快適。これぞ、楽しいトレッキング。

8時40分

すすき野を進む。秋の色。

8時45分

ハマイバ山頂の風景が見えてきた。



ハマイバ山頂の風景

8時49分

ハマイバ山頂着。

標高1752m。

トレッキングを楽しんでいたら、いつの間にや
着いたという感じ。まじって感じ。超楽って感じ。

ここも小高い丘って感じ。

360° ほとんど木々で景色が見えない。



ハマイバ 山頂

木々と雲の間から富士山が少し顔を出している。

綺麗な顔をしている。



8時57分

出発。来た道に戻る。行きと帰りでは、景色が違うのが楽しみ。
目を凝らして歩いていると不思議ないろいろなものが見えてきた。

自然芸術劇場の様だ。



自然芸術劇場

9時05分

自然芸術劇場その1

” 岩と木と葉のトーテンポール”

9時06分

自然芸術劇場その2

” 変幻自在”



9時07分

自然芸術劇場その3

” サッポロすすき野物語”



9時12分

自然芸術劇場その4

” 大木にからむ小木の沙汰”



9時15分

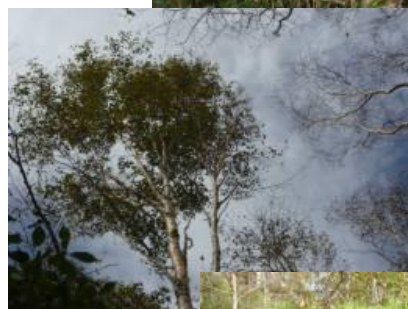
自然芸術劇場その5

” たいしたもんだよ 帰りの青空
見上げたもんだよ 屋根似の葉っぱ”

↑

映画 男はつらいよ 車寅次郎の名文句風に

” たいしたもんだよ カエルのシヨンベン
見上げたもんだよ 屋根屋のふんどし”



9時24分

自然芸術劇場その6

” 松の木ばかりがまつじゃない”

↑

松尾和子とマヒナスターズの歌 古!



9時25分

大蔵高丸頂上に戻ってきた。

富士山は雲に隠れ気味。

日が翳って、だいぶ涼しくなっている。

一気に下山。



雲に隠れる富士山

9時40分

中年の御夫婦とすれ違い。

(自分も中年であることを忘れていた)

「こんにちは」

「こんにちは」

「こんにちは」

良い言葉ですね。



帰りの山道

9時57分

湯ノ沢峠着。

ゴールは近い。

10時00分

湯ノ沢峠駐車場着。

赤い折笠シエンタが待っていてくれた。

真っ青な空、木々の緑、綺麗な花々、自然芸術劇場。

そして美しい富士山。



湯ノ沢峠駐車場の赤い折笠シエンタ

ほんと素晴らしい景色だった。

心に沁みた。

相田みつを

『なみだをこらえて かなしみにたえるとき

ぐちをいわずに くるしみにたえるとき

いいわけをしないでだまって 批判にたえるとき

いかりをおさえて じっと屈辱にたえるとき

あなたの眼のいろが ふかくなり

いのちの根が ふかくなる』

小生の疲れた心に景色が染み入り、ほのぼのとした気分になる。

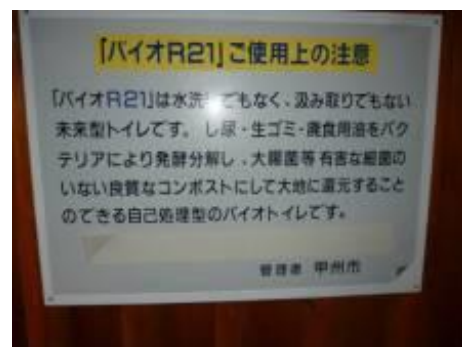
今日は、ここに来て、本当に良かった！
膝の痛みの中、無理してでも歩いて、本当に良かった！

更に、心温まる話。

湯ノ坂峠駐車場にある甲州市公衆トイレは、心温まる対応ぶりである。水洗でもなく、汲み取りでもない、未来型トイレである。そして、山の上にあるトイレとは思えないぐらい清掃が行き届いており、トイレットペーパーの先がホテルの様に三角に折ってある。



心温まるトイレ
の風景



そこで一言。
甲州市の公衆トイレは公臭せず、攻守共々巧手であった。 おそまつ

10時10分

湯ノ坂峠駐車場出発。

11時30分

浅利の折笠家に到着。

こうして、三番 大蔵高丸 ハマイバ登山は無事終わりました。



我が家のお花畑も棄てたもんじゃない

相田みつを

『あなたがそこに
ただいるだけで
その場の空気があかるくなる

あなたがそこに
ただいるだけで
みんなのところがやすらぐ

そんなあなたに
わたしもなりたい』

”あなた” が ”富士の山” と思えた。

そして、”あなた” に ”小生” も なりたい。

P. S. その日の夜、家内と勝沼ぶどう
まつりに行ってきました。
ビールを飲み甲州煮込みを食べながらの
花火観賞は最高でした。

